



THE Y'S MEN'S CLUB OF SAPPORO
CHARTERED ON NOVEMBER 21, 1955

2017年11月

c/o YMCA
MINAMI 11 NISHI 11
CUO-KU SAPPORO
〒064-0811
011(561)5217

札幌クラブ

The Service Club of YMCA
The International Association of Y's Men's Clubs

ワイズ理解・ファミリーファスト

— 主 題 —

国際会長 Let Us Walk in the Light- Together
—Fellowship across the Borders—
アジア会長 Let Us Walk in the Light- Together
東日本区理事 広げよう ワイズの仲間
北海道部部长 EMCの強化
札幌クラブ会長 楽しいワイズ

Henry Grindheim (ノルウエー)
Tung Ming Hsiao (台湾)
栗本 治郎 (熱海)
森 熊治郎 (札幌北)
柴田 伸俊 (札幌)

札幌クラブ役員

会 長 柴田 伸俊
副会長 中田 千鶴
書 記 中田 靖泰
会 計 秋葉 聡志
直前会長 宮崎 善昭

今月の聖句

短い人生の日々に、飲み食いし、太陽の下で苦勞した結果の全てに満足することこそ、
幸福で良いことだ。それが人の受けるべき分だ。
コヘットの言葉5章17節 宮崎善昭会員選

SDGsと国際協力

平和は最も小さい1人のために

担当主事 佐藤 雅一



「世界一大きな授業 2017」の資料によると、小学校に通っていない子供の半数は、紛争地域に住んでおり、その割合は2008年から上昇しています。2005年～2015年の間に、少なくとも26カ国において、学校が軍事拠点、射撃拠点、武器庫、拘置所等として利用されてきました。また、過去5年間で、少なくとも70カ国において、政治、軍事、イデオロギー、派閥、宗教、民族などの理由により、学校は攻撃の対象となってきました。

北海道YMCAはベトナムの農村地域で教室の建設を20年以上続けて来ています。教室の建設は子供達の教育環境を整え、子供達が将来への夢を育む場所となっています。合わせて地域の人々にも希望を与え自分たちの土地で生きていく可能性を開き、SDGsにある持続可能な社会作りの基盤となっています。平和とは、そのプロセスが保証されることだと考えます。

聖書には、「最も小さい1人にしたことは私(神様)にしたことであり、最も小さい1人にしなかったことは私(神様)にしなかったこと」とあります。

SDGs達成に向けては、学校を造ることと同様に、学校を破壊する行為に反対していくことが重要であり、SDGsに反する動きと戦う(もちろん非暴力によって)こと、誰のためのSDGsかを問い続けることが必要だと思います。

SDGsとは?

SDGsは2015年9月の国連サミットで採択されたものです。国連加盟193カ国が貧困、不平等などを終わらせるために2016～2030年の15年間で達成するために17の目標を掲げています。Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)の頭文字です。

2017年10月例会
出席報告

在籍会員 10名 例会出席 7名 メネット 1名 メーカーアップ 0名
ゲスト 1名 ビジター 0名 計 9名 出席率 70%

札幌ワイズメンズクラブ

2017年11月例会

日時 2017年11月21日(火) 18:30~20:30

会場 北海道YMCA

札幌市中央区南11条西11丁目1-2

Tel. 011-561-5642

会費 1,000円

プログラム

- 司会 中田 靖泰
- ① 開会点鐘 札幌クラブ会長 柴田 伸俊
- ② ワイズソング・ワイズの信条 全員
- ③ 聖句 秋葉 聡志
- ④ 開会挨拶 札幌クラブ会長 柴田 伸俊
- ⑤ 誕生日 なし
結婚記念日 なし

⑥ 卓話

「ユースリーダー派遣事業に参加して」

本間 一樹君

北海道YMCA専門学校2年生



- ⑦ 諸報告
- ⑧ YMCA報告 担当主事 佐藤 雅一
- ⑨ みんなで歌おう

月の沙漠



- ⑩ 閉会挨拶 札幌クラブ会長 柴田 伸俊

何故この聖句を? 宮崎 善昭

人生とは何か?という永遠の課題にずばり答えていると思います。各々が苦労した結果をあい相応しいものとして満足することが人間の受けるべき分であり、それ以上何も足さない、何も引かない。正に、その通りだと近頃感じられようになりました。

札幌ワイズメンズクラブ 10月例会

日時: 2017年10月17日(火) 18:30~20:30

場所: 北海道YMCA 総主事室

参加者: 秋葉、佐藤、柴田、中田千、中田靖、伏木、宮崎

メネット: 宮崎由美子

ゲスト: 大徳吉則様(卓話者) 計 9名

北海道盲導犬協会の大徳吉則氏をお招きして、盲導犬のお話を聞くことが出来ました。お供の「いろは号」は2時間以上の間、ご主人の足元にぴたりと座ったまま、ワンともスンともいわないお行儀のよさには一同感心致しました。卓話終了後、宮崎会員がアイマスクを付けているは君と実地訓練をしました。なかなか難しかったようです。

「今月の歌」は「村祭り」を歌いました。「どんどんひゃららどんひゃらら」を知らない会員の方が多かったようです。毎月、全員が歌える歌を探すのに苦勞しています。



写真上: 前列左から、中田千、大徳、柴田、中田靖
後列左から、宮崎、秋葉、伏木、佐藤、宮崎メ
大徳さんの前の「いろは」君をお忘れなく。

札幌ワイズメンズクラブ 10月事務会

日時: 2017年10月24日(水) 19:00~20:00

場所: 北海道YMCA 総主事室

出席者: 佐藤、柴田、中田靖

確認・協議事項

日時: 2017年10月23日(火) 19:00~20:10

場所: 北海道YMCA 総主事室

出席者: 佐藤、柴田、中田靖 以上 3名

▼ 11月例会関係:

日時: 2017年11月21日(火) 18:30~20:30

場所: 北海道YMCA 森北海道部長公式訪問

誕生日、結婚記念日: なし

巻頭言: 佐藤 雅一 聖句: 宮崎 善昭

卓話: リーダー関連(VLF, フロストバレーその他) 体験発表。佐藤に交渉を一任。

▼ 報告・協議事項:

・ニセコ第2例会 出席は札幌1名、北3名と少数であったが、夜12時過ぎまでYの将来を熱く語る事が出来て、意義のある企画であった。その他、ファンド事業など。

盲導犬のお話し

北海道盲導犬協会広報部長 大徳 吉則様



本日は札幌ワイズメンズクラブの例会にお招きいただき有難うございます。私の隣りにいる盲導犬を紹介いたします。名前は「いろは号」犬種はラブラドル・レトリバー5才の女の子です。性格はおとなしく又、駆けまわるよりも飼い主の傍に座っている方が好きという盲導犬に適した性格の子です。

現在日本国内で活躍している盲導犬は970頭です。うち1割の97頭が北海道で育成された盲導犬です。札幌市内には20頭程、旭川市内には10頭程の盲導犬が現役で働いています。

全国には11か所の盲導犬育成施設がありますが、北海道盲導犬協会には他の施設にはない特色があります。その1つは雪道の歩行訓練です。雪が降り積もると普段通っている道も路面状況は大きく変わります。その為、雪道を経験させて繰り返し訓練を行う事で、雪道でも活躍する事が出来る盲導犬を育てます。当協会では育成された盲導犬は北海道だけでなく東北、北陸の積雪地方でも活躍しています。

もう一つは「老犬ホーム」です。盲導犬は10歳を過ぎると足腰が弱くなり始め、どんなに元気でも12歳の誕生日を迎えると引退します。引退後は北海道盲導犬協会内にある「老犬ホーム」に戻ってきます。お世話になった引退盲導犬に安楽に過ごしてもらおうと盲導犬ユーザーが出資して39年前世界で初めて引退盲導犬のための「老犬ホーム」が札幌に出来ました。現在もホームには、5～6頭の引退犬がいます。

盲導犬は辛く厳しい訓練を受けてお仕事をしていると思われていますが、決して厳しい訓練を行っているわけでは有りません。盲導犬には良くできた時によく褒めるといふ、“犬に取っての喜び”を与え、根気よく繰り返す事で訓練を行います。それでは実際に盲導犬がしているお仕事についてお話します。

1. まっすぐに歩く

一つ目の仕事は、まっすぐ歩くことです。人間は視覚の助けなしにはまっすぐ歩くことは出来ません。盲導犬は歩道の端、あるいは車道の端を建物に沿ってまっすぐに歩きます。

ユーザーは、現在地の確認が出来たり、頭の中の地図により目的地にたどりつくのです。

2. 交差点で止まる

次のお仕事は交差点では止まるということです。よく盲導犬が目的地までユーザーを連れていくのだと思っている人がいますが、それは誤りです。盲導犬が交差した道で止まって知らせることによりユーザーは、現在地の確認が出来たり頭の中の地図により目的地にたどりつくのです。

3. 指示された物を探す

ユーザーの目に代り指示されたものを探します。例えばユーザーが「ドア」と指示すると、盲導犬は一番近いドア又は、自分たちが入ってきたドアへユーザーを誘導します。盲導犬が止まった時、犬の鼻先へ手を伸ばすとドアノブが有ります。「バス停」と指示をとするとバスの停留所へ誘導します。バスが来た時には「バスのドア」と指示をしてバスに乗り込む事ができます。盲導犬は50前後の言葉（指示語）を覚えています。

4. 障害物を避け、安全に目的地に誘導する

障害物を避けるのも盲導犬の大事な仕事です。犬は人間の膝程の高さしかありませんが、横に人間一人分の高さの幅を確認しています。例えば歩道にトラックが止まっても犬は荷台の下を通る事ができますが、ユーザーは荷台にぶつかってしまいます。その時には止まって前に障害物が有る事を知らせます。危険な時には主人の命令に従わず安全を最優先します。これを「不服従の服従」と呼んでいます。

▼盲導犬の役割

最後に、盲導犬の仕事ではありませんが、盲導犬が果たしている大切な役割があります。視覚障がい者の良きパートナーとして心を支え、光と勇気と生きる喜びを与えています。

▼盲導犬は何頭必要か？

厚生省の試算によると日本中では4,000名の視覚障がい者が盲導犬を必要としているそうです。現在はその4分の1しか供給できていません。必要な方がいても、何年か待つて頂くことになることもあります。盲導犬は皆様からの募金や寄付により育成の事業をおこなっています。皆様のご支援をお願いします。

最後に盲導犬ユーザーや視覚障がい者が困っているのを見かけた時には、人の方に声を掛けお手伝いをお願いします。

本日は有り難うございました。

右：盲導犬いろは君。2時間の間じっとご主人の足元に座っていました。



YMCAニュース 担当主事 佐藤 雅一

進化する札幌クラブ YMCA バザー

① ラッコ・マンボウ水泳発表会

12月2日(日) ラッコ・マンボウ水泳発表会が行われます。この発表会は、YMCAの障害児を対象とした水泳クラスに通う子供達が、日頃の練習の成果を発表する場として毎年行われています。選手50名程がエントリーしており、沢山のボランティアリーダーやスタッフの支援と家族の声援を受け、一生懸命泳ぐ子供達に声援をお願いします。

当日のスケジュールは、10時10分開会式、10時20より競技開始、12時20分閉会式です。



② クリスマス祝会

札幌YMCAおとなのクリスマス&ボランティアリーダー感謝会が12月7日(木)に行われます。毎年札幌ワイズメンズクラブの方々もご出席いただき、ボランティアリーダーを励ましていただいています。今年も是非ご参加をお願いします。

日時 12月7日(木) 18:30-20:20
 会場 北海道YMCA
 内容 1部 クリスマス礼拝 18:30-19:10
 2部 会員の集い 19:20-20:20
 会費 700円 当日ご持参下さい。
 申込 12月2日までにYMCAまでご連絡下さい。



③ 国際協力フェスタ

12月16日(土) 札幌駅前地下歩行広場・北3条交差点広場で「国際協力フェスタ」が行われ、北海道YMCAも参加します。

北海道YMCAでは、ベトナムボランティアワークをはじめとする国際協力活動の紹介、ベトナムグッズ・ビーズキーホルダーの販売の他、同盟が作製した日本のYMCAの国際協力事業を紹介したDVDの上映を行います。

国際協力フェスタには、北海道内で活動するNGOが多数参加し、各団体の活動を市民に向けて発信すると共に、国際協力の意義や課題を市民と共に考えていくプログラムが行われます。

10月15日(日)、恒例のYMCAバザーが珍しく好天に恵まれ盛大に挙行されました。(YMCAバザーは雨が多いのです。)札幌クラブのカレー、とコーヒーはすでに確固たる評価を得ていますが、これに甘えることなく昨年からのブラッドオレンジジュース、アイスコーヒーを導入、今年は更にチーズケーキとオレンジババロアとデザート部門を強化、名実ともに総合レストランとしての内容を整えました。売り上げもキャリアーハイの50,000円を突破しました。

下:活躍するメネット。
 左から、宮崎M、秋葉M、柴田M



右、メニュー

ワイズ食堂メニュー	
カレー Curry	
▼ワイズカレー	300円
▼カレーセット(カレー+ライス)	350円
▼カレーうどん	250円
ドリンク Drink	
▼ワイズコーヒー	100円
▼アイスコーヒー	100円
▼ブラッドオレンジジュース	150円
デザート ★ Dessert	
▼チーズケーキ	100円
▼オレンジババロア	100円



開店前のシェフ、パテシエ障:
 左から、宮崎M、柴田会長、柴田M、秋葉M、宮崎

ワイズ理解とは? ファミリーファストとは?

11月の協調月間は「ワイズ理解」と「ファミリーファスト」です。

「ワイズ理解」という用語が用いられているのは日本だけです。他国のワイズでは、11月はChristian Emphasisといって12月のクリスマスの前にキリスト教を強調する月です。仏教徒が殆どの日本にはそぐわないので先人たちの知恵だと思えます。ポール・ウィリアム・アレキサンダーがワイズを立ち上げた最初からワイズは信仰としての宗教とは無関係でした。国際憲法にも「あらゆる信仰の人々の友好団体」と明記されています。ですから「キリスト教強調」と言っても「クリスチャンになれ」というキャンペーンことではなく、「キリストの言葉を学ぼう」という意味だったと思えます。

TOF (Time of Fast: 断食の時) はご存知だと思います。断食して(一食を抜いて)そのお金を小さくされている人々に捧げようという運動です。ワイズでは2月の強調月間になっています。11月はそれを家庭内で行おうということになっています。